

登録コード	HM126900	開講年度	2026					
授業題目	衛生学公衆衛生学論文演習					担当教員	野見山 哲生 他	
英文授業名	Thesis Seminar in Preventive Medicine and Public Health					副担当	塚原 照臣・水木 将・長谷川 航平	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	博士課程
講義室				授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初							
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					⇔	講義を行い、衛生学公衆衛生学の研究に必要な論文検索・論文執筆方法の知識・技能を習得することができる。	
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					⇔	講義を用いて、衛生学公衆衛生学の研究に必要な論文執筆方法に対する課題を構築することができる。	
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					⇔	論文執筆に関する知識・技能・課題を基に、論文執筆を行い新たな知見を発表することができる。	
(2)詳細 /Detailed information	衛生学公衆衛生学に関する独創的な研究を遂行させるために必要な論文検索、論文の書き方等について解説し、文献検索、論文執筆の基礎を学ぶことで、実際の論文執筆を行い、公表することができるようになる。							
(3)授業の概要 /Overview of course	必要な論文検索、論文の書き方等について解説し、文献検索、論文執筆の基礎を学ぶ。							
(4)授業計画 /Course plan	担当教員と個別に相談を行い、スケジュールを作成する。							
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	担当教員が理解度、研究の進捗等を面談や資料を基に確認する。 判定は作成された資料で判断し、60%以上を合格とする。 それぞれ基準は90%以上 秀、80%以上 優、70%以上 良、60%以上 可とする。							
(6)履修上の注意 ・事前事後学習 の内容・テキスト・教材・参考 書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/ Reference work(s)	衛生学公衆衛生学特別研究と共に受講し、各講義の予習や復習、担当教員とのディスカッションを行い、総合的な課題能力の養成を求める。 事前・事後学習については、担当教員との個別相談により、都度確認を行い、その指示に従うこと。							
(7)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	担当教員が個別に対応する。							
(8)授業の形式 /Course format	担当教員と適宜相談すること。							